

2013年(平成25年) 12月20日 (金曜日)

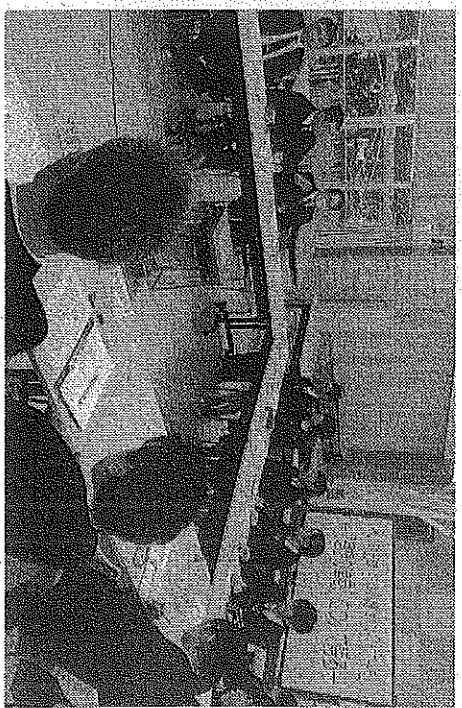
良きや改善点…話し合う

津山商高生徒、評議員、教員ら初のフォーラム

津山商業高校の生徒、学校評議員、教師らによる初めての津商フォーラムが18日、同校(山北)で開かれ、「理想の津商とは」をテーマに意見交換した。

「理想の津商とは」

新田生徒役員、校長評議員4人、校長の計21人が出席。翌日、生徒らから「今後の改善点」を取り上げる「今後の津商の在り方を探るものが魅力」「11月のとくに地域に関われたい学校、中学生にとって「目撃」ある学校は、でも魅力ある学校は、るはもっとしたい、か。津商をより取するために考えて」とも、また「おいさつと何か」を「種」で、生徒の一人は「おいさつはまた、さういふ、域の人のかわり、従来の職業は、まて、ない。もっとさうい



意見交換する津商生や学校評議員ら

心かけ、地域の輪が広がるようにしたい」と30年前、優秀な生徒が入学する伝統がある高校だった。今のおきな、生徒の質問には、回答も用意しているが、生の学校評議員から「定員割れが気になる」「たの質問が、他校の評議員からは